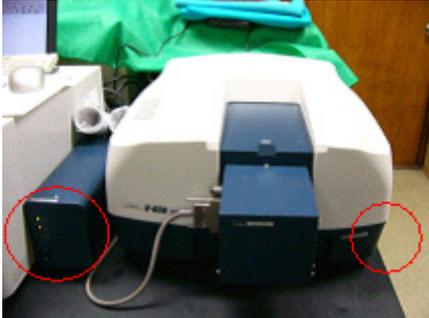


可視吸収スペクトル (JASCO V-650 spectrometer) 操作マニュアル

2011/01/19 Miwa Nakamura

基本測定

本体電源 ON (2箇所)



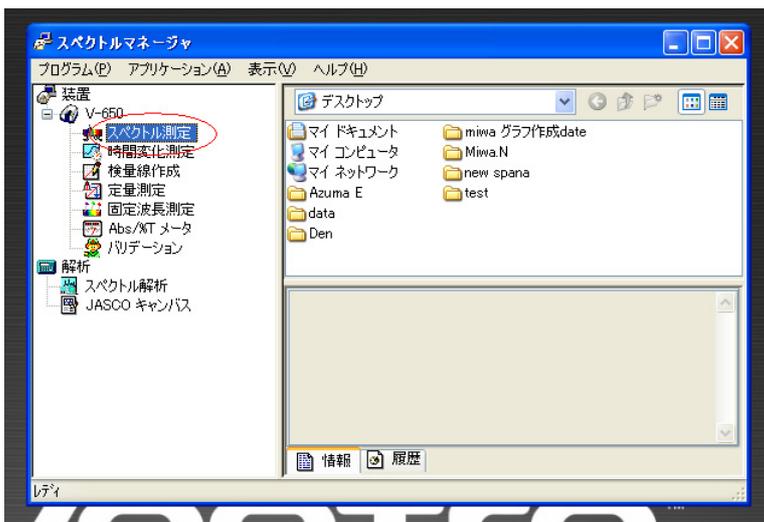
パソコン電源 ON



注意！ 光源ランプの寿命は 1000 時間なので必要ないときは消すこと。

デスクトップの Spectru Manager を開く

スペクトルマネージャーのスペクトル測定を選ぶ



パラメーターを選び、測定条件を設定する。

項目	内容
V-650	idle
機シリアルNo.	B076061150
測定パラメータ	
測定モード	Abs
バンド幅	2.0 nm



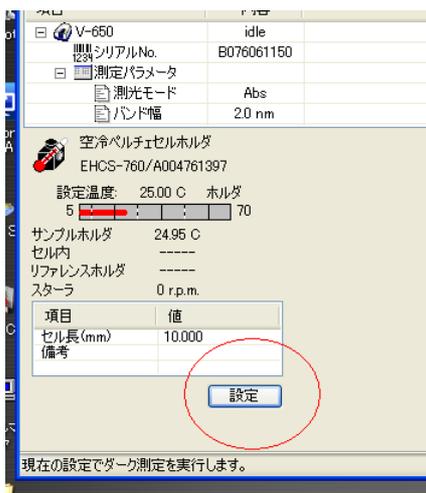
「基本」のページで測定波長などを設定できる



「付属品」のページでセルホルダーの温度を設定できる

測定条件が設定できたらウインドウの下の OK をクリック

セルホルダーを設定温度にする



画面左下の設定を選び、適応をクリック



光源が安定するまでしばらく待つ。だいたい 30 分くらい。

○セルの準備



リファレンスセル (左) とサンプルセル (右)
(セルには r と s 印が書いてある)

r : リファレンスセル

s : サンプルセル

○ダーク測定

リファレンスセルに測定溶媒のみを入れて、光の通る面をよくキムワイプでふく。



セルの向きに注意してセット。

r 印のある面を手前側にセット

測定が終わるまでリファレンスセルはそのまま。



黒い遮蔽板をセット。

A screenshot of the spectrophotometer's software interface. The main window shows a menu bar with options like '条件を開く', '条件保存', '波長移動', '光路確認', 'バンド幅', 'レスポンス', and '重オ'. Below the menu bar, there are several icons for different measurement modes: '試料測定', 'ベースライン測定', 'ダーク測定', 'パラメータ', 'プレビュー', 'スケール', 'パターン', and 'フォント'. The 'ダーク測定' icon is circled in red. A dialog box titled 'ダーク測定' is open in the foreground, displaying the message 'ダーク測定の準備ができたら、[測定]ボタンを押してください。' and two buttons: '測定(M)' and 'キャンセル'. The '測定(M)' button is also circled in red. The background window shows a table with columns for 'No.', '内容', 'パラメータ', 'モード', and 'ド幅', with values like 'B076061150', 'idle', 'Abs', and '2.0 nm'. There are also numerical readouts for '25.00 C' and '25.06 C'.

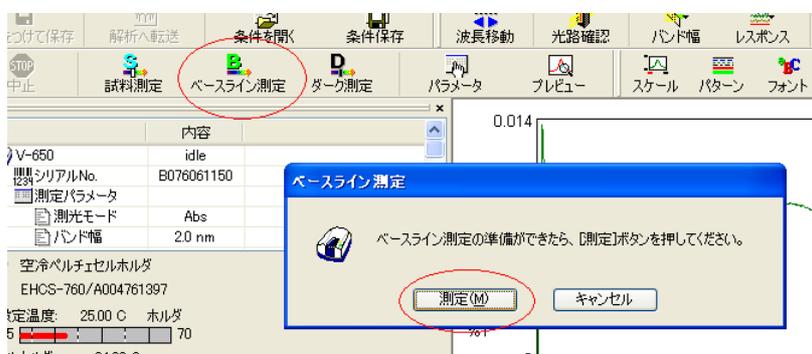
ダーク測定をクリック
測定をクリック
→ダーク測定開始。

○ベースライン測定

サンプルセルに測定溶媒のみを入れ、s印のある面を手前側にセット



ベースライン測定をクリック、測定をクリック。→ベースライン測定開始。



サンプルセルの溶媒を捨て、真空ラインを使ってサンプルセルを乾燥させる。

○試料測定

ベースライン測定で使ったサンプルセルに測定したいサンプルを入れて、



s印のある面を手前側にセット

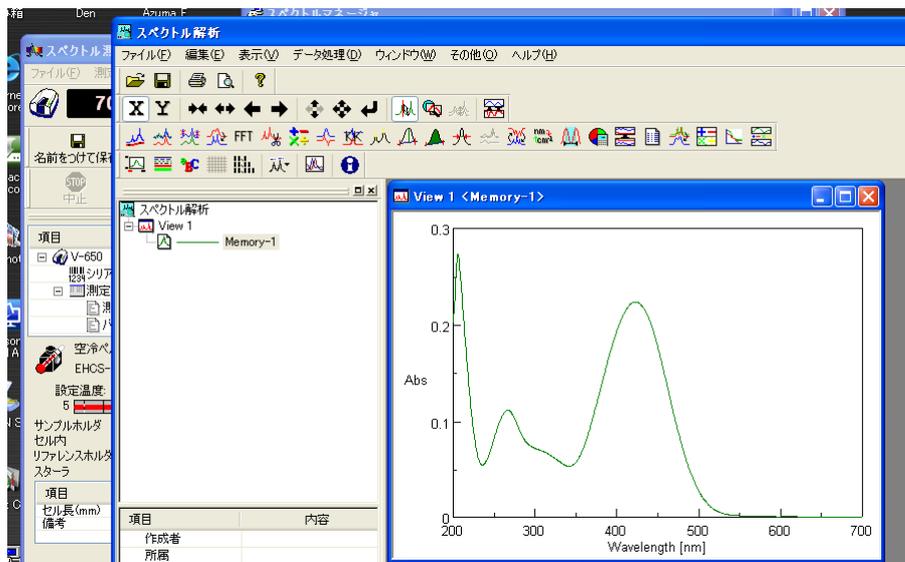
10 mm セルを使う場合

サンプル量は 2.5 ml 以上にする事。

試料測定をクリック。→試料測定開始。



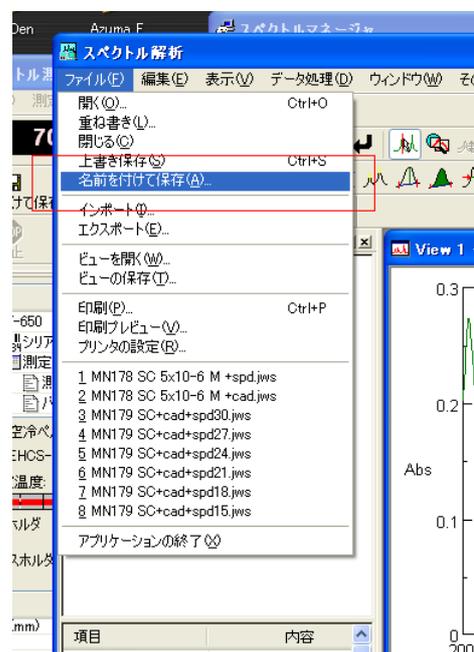
測定したデータは自動的にスペクトル解析画面に転送される。



○データの保存

スペクトル解析画面で保存したいデータを選ぶ。

ファイルから名前を付けて保存をクリック。



データ名を入力して保存する。

(続けて同じ溶媒で別のサンプルを測定する場合)

サンプルセルを使用した溶媒でよく洗い、真空ラインで乾燥させる。

再び試料測定の手順を繰り返す。

(違う溶媒でサンプルを測定する場合)

サンプルセル、リファレンスセルを使用した溶媒でよく洗い、真空ラインで乾燥させる。
ダーク測定、ベースライン測定を再び行ってから、サンプル測定を行う。

○測定終了

スペクトル解析及びスペクトル測定画面を閉じる。

スペクトルマネージャーを閉じる。

パソコン電源 OFF

本体電源 OFF

使用記録簿に記入

○データ処理

KaleidaGraph 等で処理するためにテキスト形式でデータを取り出す方法

スペクトル解析画面で取り出したいデータを開く

↓

ファイルからエクスポートを選ぶ

↓

保存先を選択

↓

取り出したい形式 (テキストやアスキーなど) を選んで、名前をつけて保存。